

# 創立 117 年 マキキ聖城キリスト教会 日本語祈祷カレンダー

## 2021 年 4 月 創立月間 私たちは「主の証人」

SUN MON TUE WED THU FRI SAT

「しかし、聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。そしてエルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、および地の果てにまで、私の証人となります。」使徒 1 章 8 節

最後の晩餐 01 祈禱会日 02 受難日 03

私たちはこの世に出て行き、福音を宣べ伝えるために神に召されている。いつでもどこでもどんな時でも神の愛を表そう。独りで出て行くのではない。主が共におられるから。

マタイ 28:1-20

伝道の目的は神の栄光。罪ある人間がキリストを信じる時、神が崇められる。主の証人として常にそのことを覚えておくことができるように。誰かに福音を伝えることができるように。

エペソ 1:1-14

キリストにある神の愛を世に伝える重大な任務は教会に委託されている。各キリスト者は祈りと経済的サポート、きよい歩み、ミニストリーに参加することによってこの務めに携わる。

ローマ 1:1-7

復活祭日 04 05 06 07 祈禱会日 08 09 10

福音宣教の働きは時とし、実りがないように見えるが、神は常に福音は神の力であることを思い起こしてください。今日の御約束に励まされ、開かれた戸から外に出よう。

ローマ 1:8-17

福音宣教には勇気が必要。初代教会のキリスト者たちのように、大胆に福音を伝えることができるように聖霊の力を求めよう。臆病が勇気に替えていただく。そのため祈ろう。

使徒 4:23-37

福音は、神がキリストによってどのように敵を友にするかを示す知らせ。隣人にキリストを紹介するとき、自分も以前は神の敵であったことを思い出そう。和解のメッセージとなるように。

2コリント 5:11-21

福音の知らせは、全ての人は神に敵対していることを語る。伝える私たちに取って苦いところ。しかし、その事実を決して軽んじることがないように。医者になったつもりで伝道しよう。

ローマ 3:5-26

福音の知らせは決して失望に終わらない。神は罪人を救うことができるから。ヨハネ 3 章 16 節を思い巡らそう。どのようにして、あなたは神の愛を隣人にシェアすべきかを考え祈ろう。

エペソ 2:1-10

福音の知らせには応答が要求される。伝道するとき、罪を悔い改め、キリストを救い主として信頼するように招くのです。ペテロのように大胆に伝えることができるように。

使徒 16:11-34

福音を伝える上で、重要な手段はキリストを信じた人に働く神の力だ。神との交わりに招き入れられた私たちが日々のきよい歩みを通して、キリストの使節であるように。

ローマ 6:1-14

11 12 13 14 祈禱会日 15 16 連鎖祈禱日 17

イエスのように伝道するためには、神についての正しい知識と神の言葉を日々の生活実行に置いて成長する必要がある。神は聖書を通してご自分を顕されました。神の真実を語れるように。

マルコ 10:17-31

謙虚は、指導者に必須である。関わる人に、自分の不完全さが弱さを分かち合うことは重要なこと。自分の弱さをシェアすることは伝道になぜ必要なのか。聖霊に心を探っていたらどう。

詩篇 51:1-12

救いには喜びが生じる。その喜びのゆえに、福音を伝えたい。神がどのようにあなたが福音の知らせを聞き、喜びが与えられたのかを思い起こし、あなたの喜びを隣人に分かち合おう。

詩篇 51:13-19

悲しみは、必ずしもネガティブではないが、私たちは悲しい目に会わないように身をかわそうとする。人が神の言葉を拒絶するときの感じる悲しみは、キリストの犠牲愛を伝える動機付となる。

詩篇 119:129-136

人を愛するが故に福音を語る。キリストのように人への愛によって救いの知らせを伝えることができるように。神の愛が必要なのはあなたの周りにいる。それは誰か？その人のために祈ろう。

ローマ 9:1-18

救いは、キリストによる。他にはないことを確信したペテロやヨハネのように、このお方だけが救いの道であることを確信して大胆にキリストを伝えることができるように。

使徒 4:1-22

福音を知らせる私たちの日々の歩みにその知らせが表れているかどうか。あなたは神の栄光のために輝いていますか。聖霊に心を探っていたらどう。聖なる歩みができるように。

1ペテロ 3:8-16

18 19 20 21 祈禱会日 22 23 24

家族や隣人のために願う祈りに、世界中の牧師・宣教師のために祈ろう。祈りによって福音宣教の働きに参加することができる。祈りに応えられる主に感謝しよう。

2テサロニケ 2:13-3:5

福音を伝える人は隣人に親切な人であるべし。重荷・必要が見えますか。キリストの愛を表す機会が与えられている。その人の必要は何か。あなたの光を放つためにその人のためにできることを実行しよう。

マタイ 5:1-16

教会・宣教団体に経済的サポートすることによって福音宣教に参加することができる。マセドニアの聖徒のように寛大な心で惜しまず与え福音の働きをサポートできるように。

2コリント 8:1-15

世に対する最大の証は、キリスト者が互いに愛し合う姿だ。互いに思いやり、祈り合い、励まし合う関係の中に、キリストに導かれる人が起こされるように。

ヨハネ 13:1-14:4

私たちの教会はホノルルに開拓され 117 年になる。教会の責任ある立場にある人々、スタッフ、各委員のために、会衆一同のために祈り、福音宣教のために燃え上がるように祈ろう。

ローマ 10:1-21

自分の弱さに気落ちしてしまうが、その弱さのうちで神の栄光が表されることに励まされるように。神の救いの目的のために私たちが用いてください。「主われを愛す」を歌おう。弱さを認め神に信頼しよう。

2コリント 4:1-18

あなたの伝道の業に結果が見られなくとも、キリストはいつもご支配されておられ、あなたの成した業は決して空ではない。神は常に忠実であられ、あなたを用いてくださることを感謝しよう。

イザヤ 53:1-12

25 26 27 28 祈禱会日 29 30

歴史を振り返ると、神は霊的リバイバルを起こし、多くの人を救いに導かれた。ウエスリー、ホイットフィールド、ジョン・エドワードなどの伝記を読み励まされよう。

イザヤ 62:1-12

キリストは全能なる力強いお方。どんな人でもキリストに寄り添う人を拒絶されず、信じる人を必ず救われる。イザヤ 59:1 をノートに書き出し、あなたの伝道の考え方を直そう。

ヨハネ 6:35-59

聖霊は私たちに勇敢な人にして下さる。祈り、神のことばから学び、隣人に福音を伝えよう。あなたは独りぼっちではない。聖霊が共におられ、神の愛を知らせ、励まして下さるのです。

ルカ 12:1-12

人の子(キリスト)の使命が揭示されている預言に、神のためのあなたの使命は何ですか。神の召と使命は、神とともに歩む、きよい敬虔な歩みから湧き上がる。神に従順な人であるように。

イザヤ 49:1-7

栄ある日を望み、祈りと賛美の時を持とう。キリストに信頼する必要がある家族、友人、同僚、隣人のために祈り、主に従うあなたを励まされる主に感謝と賛美を捧げよう。

黙示 7:1-17

ヨハネ 14:16-20 を思い巡らし、キリストを信じたあなたの中で宿られ、いつまでもともにおられることに安心して、聖霊を送ってくださった父と神子なる神に感謝を捧げよう。

使徒 1:8